

令和6年度 第3回 浜松市立泉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月10日（月） 13時55分から15時45分まで
- 2 開催場所 浜松市立泉小学校 家庭科室
- 3 出席委員 鈴木 章弘、石塚 猛裕、岩崎 まさの、新村 友得、石澤 光也、袴田 大介、和田 円
- 4 オブザーバー 鈴木 皓介（高台協働センター）
- 5 学校支援コーディネーター 黒田 裕美子、中川 もも子
- 6 学 校 中谷 哲久（校長）、松井 康子（教頭）、大石 晴子（主幹）
倉本 久美子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 倉本 久美子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、新村委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価の説明
- （2）次年度の学校運営基本方針の提案・承認
- （3）学校運営協議会自己評価の報告
- （4）「夢育やらまいか」について
- （5）登下校時の課題対応について

11 会議記録

（1）学校関係者評価の説明

主幹から、別紙資料に基づき学校関係者の説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・自治会でも高齢化もあり、夏場はとても暑いので救急車もきた。いろいろと時期をずらそうという意見も出た。少しでも子供のために良い方向にサマータイム日課の導入は、改善がなされていると思う。（鈴木委員）

・HEROの日という、学校の活動はとても良いと思う。でも、誰か一人をヒーローにしてしまうと、本来みんながヒーローという意味が薄まってしまうと思う。ヒーローという言葉を使うかには気を付けてほしい。（袴田委員）

・鍵がなく家に入れない子がいて、私の家に来た子がいる。自分を守る、命を守るために行動することができ、偉かったと思う。見守りの成果が出たと思った。（岩崎委員）

・先生方が時間を有効に使っていることが分かった。ボランティアについて、子供・職員の評価が高く良かった。（新村委員）

・さくら連絡網ができたことで、欠席した時、先生とのコミュニケーションが少なくなったよう

な気がする。(新村委員)→学校側は放課後電話連絡します。心配な点があれば家庭訪問も行っている。(校長)

・いじめ問題是对応が難しい。正解は一つではない。その場その場で対処していく必要がある。(鈴木委員)

・アンケートの設問にずれがある。子供の3回のアンケートの内容とリンクさせることで子供のアンケートと教員、保護者の評価ができるようになるのではないか。(高台協働センター)

(2) 次年度の学校運営基本方針の提案・承認

校長から、別紙資料に基づき次年度の学校運営基本方針の提案・承認の説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・楽しいことは大事だが、真剣にやって達成された楽しさだと思う。それを教育としてやっていただきたい。対話力を上げるようなコミュニケーション能力を上げる教育をしていただきたい。(袴田委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会自己評価の報告

教頭から、別紙資料に基づき学校運営自己評価の報告があり、委員からは、以下の発言があった。

・さくら連絡網は親が見ていないのではないか。個別登校も知らない子がいた。送ったからいいわけではない。(鈴木委員)→発信はしているが、見ていただけない。必要なものは紙で発信していかなければいけない。(教頭)

・学校の連絡のやり取りは、保護者の意識も必要。発信のほうで考えるのであれば、発信の量。どのくらいの頻度で発信するか考えたほうがよい。(袴田委員)

(4) 「夢育やらまいか」について

教頭から、別紙資料に基づき「夢育やらまいか」について報告があった。

(5) 登下校時の課題対応について

校長から、別紙資料に基づき登下校時の課題対応について報告があり、委員からは、以下の発言があった。

・朝は大丈夫だと思うが、下校時に新一年生は見守りが欲しいと思う。(石塚委員)

その他報告事項等

教頭から、次回会議は、令和7年5月8日(木)午後1時30分から家庭科室で開催する旨の報告があった。